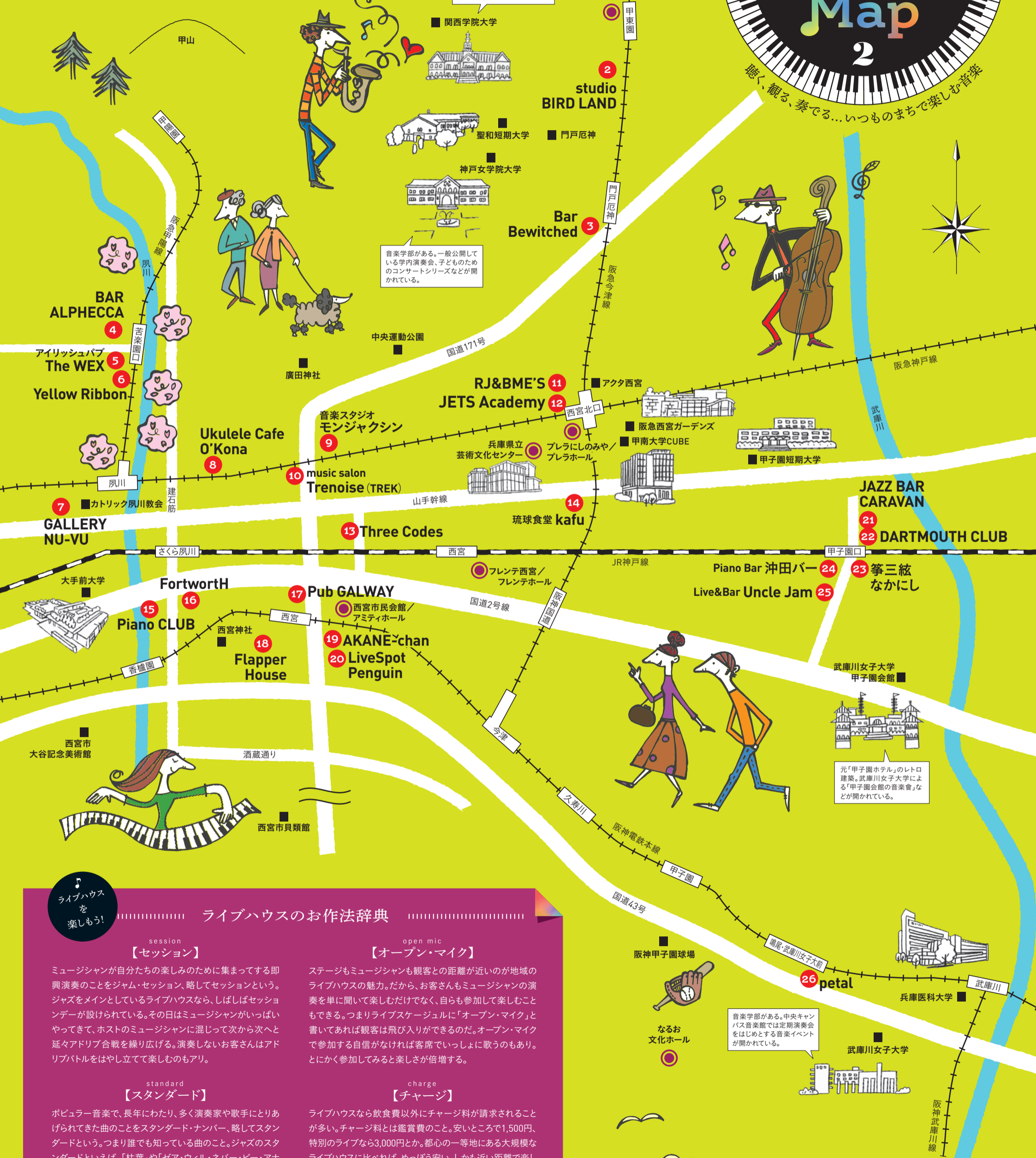




聴く、観る、奏でる...いつものまちで楽しむ音楽



上ヶ原キャンパスのランパス記念礼拝堂では、関学の音楽団体によるコンサートが随時開かれています。

音楽学部がある。一般公開している学内演奏会、子どものためのコンサートシリーズなどが開かれています。

元「甲子園ホテル」のレトロ建築。武庫川女子大学による「甲子園会館の音楽会」などが開かれています。

音楽学部がある。中央キャンパス音楽館では定期演奏会をはじめとする音楽イベントが開かれています。

ライブハウスを
楽しもう!

ライブハウスのお作法辞典

session
【セッション】

ミュージシャンが自分たちの楽しみのために集まってする即興演奏のことをジャム・セッション、略してセッションという。ジャズをメインとしているライブハウスなら、しばしばセッションデーが設けられている。その日はミュージシャンがいっぱいやってきて、ホストのミュージシャンに混じって次から次へと延々アドリブ合戦を繰り広げる。演奏しないお客さんはアドリブバトルをはやし立てて楽しむのもアリ。

standard
【スタンダード】

ポピュラー音楽で、長年にわたり、多く演奏家や歌手にとりあげられてきた曲のことをスタンダード・ナンバー、略してスタンダードという。つまり誰でも知っている曲のこと。ジャズのスタンダードといえば、「枯葉」や「ゼア・ウィル・ネバー・ビー・アナザー・ユー」など、もともとは映画やミュージカルで使われていたものも少なくない。ジャズのスタンダードなら、カラオケにもあるので、じっくり練習してからライブハウスにデビューするのも楽しい。

open mic
【オープン・マイク】

ステージもミュージシャンも観客との距離が近いのが地域のライブハウスの魅力。だから、お客さんもミュージシャンの演奏を単に聞いて楽しむだけでなく、自らも参加して楽しむこともできる。つまりライブスケジュールに「オープン・マイク」と書いてあれば観客は飛び入りができるのだ。オープン・マイクで参加する自信がなければ客席でいっしょに歌うのもあり。とにかく参加してみると楽しさが倍増する。

charge
【チャージ】

ライブハウスなら飲食費以外にチャージ料が請求されることが多い。チャージ料とは鑑賞費のこと。安いところで1,500円、特別のライブなら3,000円とか。都心の一等地にある大規模なライブハウスに比べれば、めっぽう安い。しかも近い距離で楽しめるのが地元ライブハウスなのだ。飲食費については最低でもドリンクや料理をひとつ注文するという仕組みを取っているお店が多い。システムや料金はあらかじめ電話やメールで聞けば教えてくれる。

西宮市のライブスポットはまだあります
あなたが知っている西宮市のライブスポット情報をお寄せください。
西宮市産業文化局文化スポーツ部文化振興課 vo_bunka@nishi.or.jp
発行元/西宮市 制作/大阪商業大学 公共学部 桑島研究室
発行/令和3年3月